



知る、考える、進めるために。

除染情報プラザ

福島県



福島再生

REPORT

31

平成25年1月31日

毎週、福島を除染活動状況をお伝えします。

天栄村



天栄村立天栄幼稚園の除染風景（平成24年7月撮影）

天栄村では、平成24年4月より原子力災害対策係を設け、本格的に除染に取り組んできました。

除染を進めるにあたっては、子どもたちの健康を守ることを最優先に、幼稚園や公園などの子どもがいる生活圏の除染を先行してきました。また、除染方法や効果を検証するため、比較的放射線量の高い地区であった、大里南部の沢邸地区において、子どもがいる世帯を含む8世帯の住宅と、集会所を対象に先行除染を実施し、昨年11月末に終了しました。

添田勝幸天栄村長は、「沢邸地区の先行除染では、放射線量を下げることの効果が、放射線量を抑制する資材の散布作業風景（平成24年4月撮影）

また、米づくりが盛んな天栄村では、国による作付け制限はかからなかったものの、主要産業を守るための取り組みにも力を入れてきました。村は農家の方々とともに、平成23年と24年に、田植え前の水田において放射性物質の吸収を抑制する資材などを使った実証実験を実施しました。その努力の甲斐もあり、吸収抑制資材散布後の水田で収穫された米は、県による放射性物質検査で安全性が確認されました。さらに、米の旨さを評価する「米・食味分析鑑定コンクール 国際大会※」において、天栄村の米は平成23年、24年ともに総合部門の金賞を受賞しました。今後も村と農家の方々と団結し、村の除染実施計画に基づいた農地除染を進める予定です。

天栄村は、今年も住民の方々と力を合わせ、村の再生に向けて除染に取り組んでいきます。

※米・食味鑑定士協会の主催により平成12年から開催。

天栄村産の米は、20年の初出品より連続して総合部門の金賞を受賞。

子どもたちを守るために。
今年も住民の方々とともに、
除染を推し進めます。



中屋敷地区で行われた放射性物質の吸収を抑制する資材の散布作業風景（平成24年4月撮影）



大里南部の沢邸地区住宅地の除染風景（平成24年10月撮影）